



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月8日

上場会社名 日本紙パルプ商事株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8032 URL https://www.kamipa.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 昭彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部本部長 (氏名) 藤井 賢一郎 (TEL) 03(3534)8522  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	421,854	31.0	16,338	57.7	17,186	57.4	21,934	156.9
2022年3月期第3四半期	321,941	—	10,362	48.5	10,918	53.7	8,536	198.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 24,706百万円(174.2%) 2022年3月期第3四半期 9,011百万円(104.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	1,598.97	1,595.72
2022年3月期第3四半期	623.23	621.77

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。このため、2022年3月期第3四半期の売上収益の対前年同四半期増減率は、記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	379,465	123,119	30.2
2022年3月期	338,939	100,317	27.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 114,642百万円 2022年3月期 92,821百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	55.00	—	60.00	115.00
2023年3月期	—	60.00	—		
2023年3月期(予想)				60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	35.1	19,000	26.2	23,000	100.0	1,676.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 ー 社(社名) 、除外 ー 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	15,021,551株	2022年3月期	15,021,551株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,303,199株	2022年3月期	1,319,240株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	13,717,268株	2022年3月期3Q	13,696,590株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上収益421,854百万円（前年同期比31.0%増）、営業利益16,338百万円（同57.7%増）、経常利益17,186百万円（同57.4%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、当社が東京都中央区に所有する固定資産の一部譲渡に伴う固定資産売却益を特別利益に計上したこと等により、前年同期比156.9%増の21,934百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績をセグメント別に見ますと次のとおりです。

#### 「国内卸売」

紙は、新型コロナウイルス感染症対策の行動制限が緩和されたことによる社会経済活動の正常化に伴い、イベント向けのチラシやパンフレットなど一部需要回復の動きが見られたものの、雑誌の発行部数減少の影響やP P C用紙の販売数量減少等があり、販売数量は前年同期並みとなりました。

板紙は、通販関連や加工食品向けの需要が堅調に推移し、また人流の回復に伴い土産や贈答品向けの需要の回復が見られるものの、自動車及び機械関連向けの需要が低調に推移したことから、販売数量は前年同期に比べ減少しました。

電子部品関連機能材については、中国におけるゼロコロナ政策等の影響で電子部品向けの需要が減少し、販売数量は前年同期に比べ減少しました。

売上収益は、紙、板紙ともに価格修正により販売価格が上昇したことから、前年同期比4.2%増の135,913百万円となりました。

経常利益は、売上収益の増加に加えて人件費等の販売費及び一般管理費が減少したことにより、前年同期比19.7%増の3,870百万円となりました。

#### 「海外卸売」

主要拠点である米国、英国、豪州において、社会経済活動の正常化に伴う需要の回復に加え、原燃料価格の高騰に起因する複数回にわたる価格修正が需給ひっ迫の環境下で浸透し販売金額が増加しました。本邦からの輸出においては当第3四半期連結会計期間後半には中国のゼロコロナ政策等による需要の減少が見られたものの、当期を通して板紙の販売数量が増加するとともに、紙及び板紙の販売価格が上昇しました。以上の結果に加えて為替換算の影響もあり、売上収益は前年同期比60.9%増の225,616百万円となりました。

経常利益は、運賃や人件費等の販売費及び一般管理費の増加があったものの、売上収益の増加が上回り、特に米国、英国において大幅な増益となったことから、前年同期比259.8%増の10,457百万円となりました。

#### 「製紙加工」

段ボール原紙製造事業において販売数量が減少したものの、インドネシアの段ボール事業及び国内再生家庭紙製造事業において販売数量が増加したことに加えて、段ボール原紙製造事業及び再生家庭紙製造事業において販売価格が上昇したことにより、売上収益は前年同期比12.7%増の35,713百万円となりました。

経常利益は、段ボール原紙製造事業及び再生家庭紙製造事業における原料古紙や副資材価格の上昇及び電力価格やガス等の燃料価格の高騰による製造費用の増加に加えて、ベトナムでの再生家庭紙製造事業における販売数量の減少により、前年同期比21.6%減の2,788百万円となりました。

#### 「環境原材料」

国内古紙事業においては主に新聞古紙及び雑誌古紙の発生数量の減少に伴い販売数量が減少したものの、米国古紙事業では販売数量が増加し、また、国内、米国ともに販売価格が上昇したことにより、古紙事業全体の売上収益は増加しました。さらに、国内及び海外製紙メーカー向けのパルプの販売数量の増加と販売価格の上昇、木質バイオマス発電所向け燃料の販売数量の増加と販売価格の上昇により、売上収益は前年同期比36.7%増の21,413百万円となりました。

経常利益は、総合リサイクル事業においては電力価格の高騰等により減益となり、木質バイオマス発電事業においても燃料となる木材等の価格の高騰と修繕費の増加により減益となったものの、古紙事業及び燃料の販売における売上収益が増加したことにより、前年同期比30.7%増の1,734百万円となりました。

「不動産賃貸」

主要テナントビルにおける一部空室の発生及び当社が東京都中央区に所有する固定資産の一部譲渡により賃貸料収入が減少し、売上収益は前年同期比19.4%減の3,199百万円となりました。

経常利益は、売上収益の減少及び固定資産の一部譲渡に伴う一時費用の発生があり、前年同期比21.7%減の994百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、当社が東京都中央区に所有する固定資産の一部譲渡等に伴い有形固定資産が減少したものの、当該譲渡の収入による預金の増加や、売上債権及び棚卸資産の増加、また、為替換算の影響による増加等により、前連結会計年度末に比べて40,525百万円増の379,465百万円となりました。

総負債は、有利子負債が減少したものの、未払法人税等の増加や仕入債務の増加、また、為替換算の影響による増加等により、前連結会計年度末に比べて17,723百万円増の256,346百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加や為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べて22,802百万円増の123,119百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年11月8日に公表いたしました連結業績予想数値の修正はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,009	25,918
受取手形及び売掛金	122,330	154,869
棚卸資産	45,360	56,526
その他	3,930	8,050
貸倒引当金	△1,554	△1,960
流動資産合計	183,075	243,403
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	45,594	33,251
土地	32,494	26,707
その他（純額）	31,286	31,320
有形固定資産合計	109,374	91,277
無形固定資産		
のれん	1,586	1,501
その他	2,043	1,998
無形固定資産合計	3,629	3,499
投資その他の資産		
投資有価証券	35,899	33,662
退職給付に係る資産	163	171
その他	8,990	9,888
貸倒引当金	△2,272	△2,502
投資その他の資産合計	42,781	41,220
固定資産合計	155,784	135,997
繰延資産	80	66
資産合計	338,939	379,465

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	96,010	109,205
短期借入金	39,024	44,062
1年内返済予定の長期借入金	5,076	13,039
コマーシャル・ペーパー	8,000	1,000
1年内償還予定の社債	11	-
未払法人税等	2,032	11,914
引当金	2,409	1,360
その他	11,973	14,171
流動負債合計	164,535	194,751
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	28,559	19,141
引当金	1,272	656
退職給付に係る負債	1,237	1,589
その他	13,020	10,209
固定負債合計	74,088	61,595
負債合計	238,623	256,346
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,649	16,649
資本剰余金	6,999	6,988
利益剰余金	65,484	85,751
自己株式	△5,003	△4,942
株主資本合計	84,129	104,446
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,438	6,126
繰延ヘッジ損益	△39	5
為替換算調整勘定	1,279	4,047
退職給付に係る調整累計額	15	18
その他の包括利益累計額合計	8,692	10,196
新株予約権	83	76
非支配株主持分	7,412	8,401
純資産合計	100,317	123,119
負債純資産合計	338,939	379,465

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上収益	321,941	421,854
売上原価	268,853	355,937
売上総利益	53,088	65,917
販売費及び一般管理費	42,727	49,578
営業利益	10,362	16,338
営業外収益		
受取利息	244	445
受取配当金	615	749
持分法による投資利益	379	357
その他	686	765
営業外収益合計	1,924	2,316
営業外費用		
支払利息	1,226	1,378
その他	141	90
営業外費用合計	1,367	1,468
経常利益	10,918	17,186
特別利益		
固定資産売却益	474	16,857
投資有価証券売却益	380	278
退職給付制度改定益	5,969	-
その他	4	-
特別利益合計	6,827	17,136
特別損失		
関係会社株式売却損	-	245
固定資産処分損	76	91
投資有価証券評価損	776	10
減損損失	1,779	-
転貸損失	64	-
その他	23	0
特別損失合計	2,719	346
税金等調整前四半期純利益	15,026	33,976
法人税、住民税及び事業税	2,979	13,377
法人税等調整額	2,579	△2,229
法人税等合計	5,558	11,149
四半期純利益	9,468	22,828
非支配株主に帰属する四半期純利益	932	894
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,536	21,934



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	9,468	22,828
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,060	△1,143
繰延ヘッジ損益	3	44
為替換算調整勘定	1,124	3,142
退職給付に係る調整額	△409	5
持分法適用会社に対する持分相当額	△115	△169
その他の包括利益合計	△458	1,878
四半期包括利益	9,011	24,706
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,977	23,437
非支配株主に係る四半期包括利益	1,034	1,269

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント					合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	国内卸売 (百万円)	海外卸売 (百万円)	製紙加工 (百万円)	環境原材料 (百万円)	不動産賃貸 (百万円)			
売上収益								
顧客との契約から 生じる収益	130,411	140,219	31,679	15,662	—	317,970	—	317,970
その他の収益	—	—	—	—	3,971	3,971	—	3,971
外部顧客への 売上収益	130,411	140,219	31,679	15,662	3,971	321,941	—	321,941
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	5,418	949	3,796	4,725	79	14,966	△14,966	—
計	135,829	141,167	35,475	20,387	4,050	336,907	△14,966	321,941
セグメント利益 又は損失 (△)	3,231	2,907	3,557	1,327	1,269	12,292	△1,374	10,918

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社部門の損益17百万円が含まれております。全社部門の損益は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益、営業外費用の純額であります。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「海外卸売」セグメントにおいて、RADMS Paper Limitedに係るのれんの減損損失1,779百万円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「海外卸売」セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上しております。当該事象によるのれんの減少額は、当第3四半期連結累計期間においては1,779百万円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 報告セグメントごとの売上収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント					合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	国内卸売 (百万円)	海外卸売 (百万円)	製紙加工 (百万円)	環境原材料 (百万円)	不動産賃貸 (百万円)			
売上収益								
顧客との契約から 生じる収益	135,913	225,616	35,713	21,413	—	418,655	—	418,655
その他の収益	—	—	—	—	3,199	3,199	—	3,199
外部顧客への 売上収益	135,913	225,616	35,713	21,413	3,199	421,854	—	421,854
セグメント間の内部 売上収益又は振替高	5,448	366	2,594	4,502	71	12,981	△12,981	—
計	141,361	225,982	38,306	25,915	3,270	434,835	△12,981	421,854
セグメント利益 又は損失 (△)	3,870	10,457	2,788	1,734	994	19,843	△2,657	17,186

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社部門の損益△659百万円が含まれております。全社部門の損益は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益、営業外費用の純額であります。